

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日： 年 月 日

所属学部／研究科・学科／専攻	農学部
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カルフォルニア大学バークレー校 現地言語： University of California at Berkeley
留学期間	2018年5月～2018年8月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年8月13日
明治大学卒業予定年	2020年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:5月-8月 2学期: 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	6791	737541 円	
宿舍費	2726	294400 円	
食費	1500	162000 円	
図書費	180	19400 円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費	210	22600 円	
医療費	300	32400 円	予防接種
保険費		円	形態:
渡航旅費		17130 円	マイル利用
雑費	650	70200 円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	12357	1355671 円	1ドル 108 円計算

## 渡航関連

渡航経路: 日本航空 (マイルージ利用)

渡航費用

チケットの種類	特典航空券
往路	17130
復路	0
合計	17130

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

スマホができれば大丈夫です。

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

The Berk

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 3)

3)住居を探した方法:

大学ホームページ

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

まず知っておくべきことは、サマーの期間中、レギュラーの生徒は非常に少ないため中国人や韓国人の団体(インターナショナルスクールが主)に寮を占拠される可能性がある。私のステイした寮は現地の学生 3-4 人に対し 50 人規模の中国人の団体がステイしていました。わたしの場合はルームメイトが現地の学生で非常に良い関係を構築できたのはよかったが寮内の交流があまりなかったのは残念でした。

自分で寮やアパートを探し安くすることもできますが、3 ヶ月という短期間に授業があるため勉強に集中して取り組むために International House は様々な国からの学生が多く、イベント等も多いいため、オススメです。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した: Fall semester 協定校に必要な予防接種、血液検査のため

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

現地国際教育事務室相談ができる

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

夜は危険なので怪しい人には近づかないようにする

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

どこでも wifi はつかえる。ソフトバンクはアメリカ国内でも通信、電話が無料なためかなりおすすめ。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

SMBC 信託銀行の口座を作ると CITY Bank の ATM がアメリカでも使える。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

風邪薬があれば安心

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

事前に支払う

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
11 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Advertising strategy	広告学
科目設置学部・研究科	Hass school of business
履修期間	A
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	
授業内容	FORMTEXT マーケティングを用いた広告学の授業。 先生が選んだ記事がリーディングで課れる。
試験・課題など	プレゼンテーションの課題が成績評価の半分を占める。
感想を自由記入	き

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Topics Cooperate social Responsibility		企業の社会的責任	
科目設置学部・研究科	Hass school of business		
履修期間	A		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が2回		
担当教授			
授業内容	企業のCSRに関する講義。概要に関する講義の後、ケーススタディーを学ぶ		
試験・課題など	3回の課題、プレゼンテーション、講義		
感想を自由記入	CSRをビジネスの観点からとらえる講義。環境学に興味がある人にはオススメ。現地の学生が90%ほどでレベルは高く感じたが、先生やクラスメートが優しく、最終プレゼンテーションではグループでユニクロのCSRに関するプレゼンテーションを行った。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Emotional Intelligence		感情のIQ	
科目設置学部・研究科	Psychology		
履修期間	D		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が3回		
担当教授			
授業内容	IQが変わる、感情の発達に関する講義		
試験・課題など	ペーパー3枚、試験2回		
感想を自由記入	FORMTEXT 他方の session D の授業が非常に課題が多かったため、比較的課題の少ない講義をとった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
From farm to Table;			
科目設置学部・研究科	ESPM		
履修期間	D		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	主にディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が4回		
担当教授	Ana		
授業内容	アメリカの農業全般から食品産業に関する授業であるが、アメリカの社会問題である人種間の健康格差に重点が置かれていた。		
試験・課題など	毎回50ページのリーディング、ペーパー、ファイナルペーパー、プレゼンテーション等課題が非常に重い分、試験がなかった。		
感想を自由記入	最初の週から、時が経つのをわすれるほど課題に忙殺されていた。		

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2017年 1月～3月	留学に関する情報を集める
4月～7月	TOEFL に向けて勉強
8月～9月	TOEIC 受験
10月～12月	出願等手続き
2018年 1月～3月	オリエンテーション・ビザ手続き
4月～7月	出発
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	私は高校生の時にサンフランシスコに短期の語学留学をしていたことがありました。その時のホストファミリーが非常に優しく大学に入ったなら現地の大学に留学をしたいと考えていました。また明治大学に留学したあとも
留学のためにした準備, しておけば良かったと思う準備	アメリカの大学で現地の学生とおなじ授業を受けるということは英語力はもちろんのこと履修する授業の知識が不可欠です。アメリカの大学では教授は生徒に対し意見、質問を求め、生徒は非常に積極的に発言をします。アメリカに来て自分の知識の浅さ、発言力の低さに
この留学先を選んだ理由	アメリカでトップクラスの Public university であるため。
大学・学生の雰囲気	本当に優秀な学生が世界から集まっている。
寮の雰囲気	私の住んでいた寮は通常 of the 学期の間は現地の学生向けの寮ですが、サマーセッションの期間中、中国人のグループがほとんどでした。そのためルームメイト以外ほとんどがグループできている人たちでした。そのため、寮内では交流がやや少なく残念でした。
交友関係	ルームメイトが素晴らしいひとで、おかげで楽しい留学生活を送れました。
困ったこと、大変だったこと	現地の学生と同じ授業を受けることは非常に大変でした。また自分の英語力の低さのために当初友人を作るのも苦労しました。
学習内容・勉強について	バークレー校での講義は日本の大学の形式と異なり積極性が重視されます。大学受験を思い出すほど勉強しました。
課題・試験について	課題が本当に膨大です。特に最初の1ヶ月はなにから手をつければいいのか分からないほどです。試験は教授によってレベルは違います。

大学外の活動について	サマーセッションは授業が通常の2-4倍のスピードで進みます。あまり大学外の活動はできないかもしれません。
留学を志す人へ	留学は思っている以上に過酷です。留学は楽しいだけではありません。しかし、辛いことも多いからこそ成長につながります。日本で充実した楽しい大学生活を送るのもいいですが、本気で海外で自分に向き合うことも貴重な経験になると思います。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	睡眠	ジム	ジム
	授業	授業	授業	授業	自習	食事	食事
午後	授業	授業	授業	授業	授業	映画鑑賞	ドライブ
	自習	自習	自習	自習	食事	自習	ドライブ
夕刻	食事・ジム	食事	食事・ジム	食事	自由時間	自由時間	食事
夜	自習	自習	自習	自習	ルームメイトと食事	自習	自習